

令和6年第7回定例会

議案説明資料

提出課： 財務課

議案番号	102	令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)
令和6年度大山町一般会計補正予算(第5号)の概要について		
今回補正額		298,746 千円
(財源内訳)	[
国・県支出金	19,849 千円	
地方債	△ 500 千円	
その他	174,251 千円	
一般財源	105,146 千円	
補正後の額		12,133,723 千円
(参考)		
昨年度9月末現在予算額	11,901,649 千円	
(前年度比	232,074 千円の増)	
補正計上された主な事業等		
●大山町応援券事業 82,186千円(要求課 商工観光課)		
物価高騰の影響を受けている家計負担の低減とあわせて地域経済の活性化を図るため、全町民を対象に町内協賛店舗で利用可能な商品券を配布し、住民の町内消費を促す。		
●宿泊応援事業 20,516千円(要求課 商工観光課)		
昨シーズンの雪不足や原材料高騰の影響を受けている事業者を支援するため、町内宿泊施設への宿泊者を対象とした宿泊代金の割引を行い、誘客を図る。		
●畜産業費(一般) 21,970千円(要求課 農林水産課)		
円安などの影響により輸入飼料価格が急騰し高止まりをしていることで、経営が悪化している酪農家の経営継続を飼料代助成で支援する。また、和子牛価格が急落していることを受け、和牛繁殖農家の経営負担部分を支援する。		
●DMO設立準備事業 19,222千円(要求課 商工観光課)		
令和7年1月の候補DMO申請に向け、一般社団法人大山観光局を母体とし機能強化を図り準備を進める。マネジメントエリアを町全域とし、拠点を大山支所に移すことにかかるイニシャルコスト及びランニングコストの一部を支援する。		
●名和クリーンセンター運営事業 22,251千円(要求課 住民課)		
今後も安全で安定した焼却業務を継続するため、名和クリーンセンターの不具合箇所や、経年劣化・摩耗した設備を修繕・更新するための費用を計上する。		